

主な検討事項及び論点

一人一台端末環境のもと、個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、新しい時代の学校施設の在り方と推進方策を提言する。

【検討事項及び論点】 下線部：今回特に議論していただきたい観点

○前提として、新しい時代の学びの姿をどう捉えるか。また、それらの学びを実現するための学校の姿をどう捉えるか。

(キーワード)

- ・新学習指導要領の着実な実施（主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善等）
- ・個別最適な学びと協働的な学びの実現
- ・少人数による指導体制の整備
- ・ICTの活用や、教師による対面指導と遠隔・オンライン教育とのハイブリット化による指導
- ・地域社会や関係機関等との連携・協働
- ・インクルーシブ教育システムの構築

○新しい時代の学びを実現するための学校施設はどうあるべきか。

◆ポストコロナ時代における学校施設の意義、空間に集まり学ぶことの価値

◆少人数による指導体制への対応を含む個別最適な学びと協働的な学びを実現する施設環境の整備

(例)

- ・1人1台端末や遠隔・オンライン教育に適合した普通教室の環境整備（教室サイズ、教室用家具、設備等を含む）
- ・学校図書館等の環境整備など、既存の学校資源の活用促進
- ・教職員のためのICT環境の整備や作業空間の充実 等

◆多様な学習活動に対応する施設環境の整備

(例)

- ・普通教室を含めた学習環境の整備（オープンスペース、多目的スペース など）
- ・STEAM 教育など教科等横断的学習に対応した特別教室
- ・多様な児童生徒に対応した学習空間（個別学習スペース、カウンセリングルーム等）
- ・校舎、体育館、屋外環境など学校施設全体を学習空間と捉えた環境整備 等

◆新しい生活様式を踏まえ、健やかに学習・生活できる環境の整備

(例)

- ・豊かな心と健やかな体を育む、健康的でゆとりと潤いのある施設環境
- ・空調整備やトイレ改修、バリアフリー化などの環境整備 等

◆人口動態等を踏まえた効率的・効果的な施設環境の整備

(例)

- ・既存施設の長寿命化改修に合わせた機能改善
- ・地域の拠点として、他の公共施設との複合化や共用化等により、多様な学びを生み出す施設環境（分野を横断した議論、調整）
- ・PPP/PFI など多様な整備手法の導入・活用の促進 等

◆安全・安心な教育環境の確保など、基盤的な整備

(例)

- ・防災・減災、国土強靱化の推進（災害・事故等から子供たちの生命を守る）
- ・カーボンニュートラルの実現を目指した施設の整備 等

○学校施設を巡る現状はどのような状況か。目指すべき姿に対し、どのような課題を克服していかなければならないか。

- ・時間軸（短期的、中期的、長期的）を視野に入れた整理の必要性

○新しい時代の学びを実現する学校施設の整備を推進するために、どのような方策を講じるか。